

—千里ライフサイエンス新適塾—
「脳は面白い」第43回会合

「言語の系統発生と個体発生のための
生物学のおよび認知的基盤」

講師：今井 むつみ（いまい むつみ）

慶應義塾大学 環境情報学部 教授

日時：2023年12月26日（火） 17:30～20:00

会場：千里ライフサイエンスセンタービル

講演会：17:30～19:00 6階千里ルーム A (WEB 配信併用)

懇親会：19:00～20:00 5階 Port5

懇親会を予定しておりますので、是非会場にお越しください。

参加費：講演会、懇親会とも無料

1. 参加登録 事前申込のみとします。（締切：2023年12月22日 AM 12時）
2. 募集定員 会場参加 80名、オンライン参加 200名
3. 参加希望者は、当財団ホームページの「参加申込・受付フォーム」からお申し込み下さい。 URL: <https://www.senri-life.or.jp/>
4. オンライン参加登録者には開催日の前日までに参加方法をお知らせします。

コーディネーター:

古川 貴久（大阪大学 蛋白質研究所 教授）

山本 亘彦（大阪大学 名誉教授）

主催：千里ライフサイエンス振興財団

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号
千里ライフサイエンスセンタービル20階

E-mail : tkj-2022@senri-life.or.jp TEL : 06-6873-2006

Website: <https://www.senri-life.or.jp>

講演要旨：

子どもはどのように抽象的な記号の体系である言語を身体の一部にし、コミュニケーションの道具、思考の道具にしているのだろうか？認知科学者の Steven Harnad は、最初の語彙は身体に紐づけられていなければならないとし、「記号接地」の重要性を主張した。同時に抽象的な意味をもつ記号の体系として多くの単語は身体との直接のつながりがない抽象的な意味をもつ。身体につながる語を子供はどのように接地させるのか。そして子供はどのように身体から離れて抽象的な意味を習得していくのか。本講演ではその道筋をたどり、それを可能にする生物学的及び認知的基盤について議論する。また、言語の習得は人間の概念と思考をどのように変えるのかを脳と認知のレベルで考察する。

プロフィール：

学歴・職歴

- 1989年3月 慶應義塾大学社会学研究科後期博士課程修了
- 1990年9月 ノースウェスタン大学心理学部大学院博士課程に編入
- 1994年1月 ノースウェスタン大学より博士号 (Ph.D) 取得
- 1993年より慶應義塾大学環境情報学部 助手、専任講師、助教授を経て
- 2007年より教授

受賞歴

- 1994年 APA (American Psychological Association) より APA Dissertation Award
- 1995年 発達科学教育奨励賞
- 1998年 日本認知科学会奨励賞
- 2000年 日本心理学会奨励賞
- 2007年 日本心理学会国際賞奨励賞
- 2018年 Cognitive Science Society Fellow

所属学会

- 日本言語科学会
- 日本認知科学会
- 日本教育心理学会
- 日本心理学会
- Psychonomic Society (Fellow member)
- Cognitive Science Society (Fellow)
- Society of Research in Child Development